

# 令和4年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 緑丘 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学、理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、数学、理科)

#### 教科に関する調査(国語、数学、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問紙調査

#### 生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

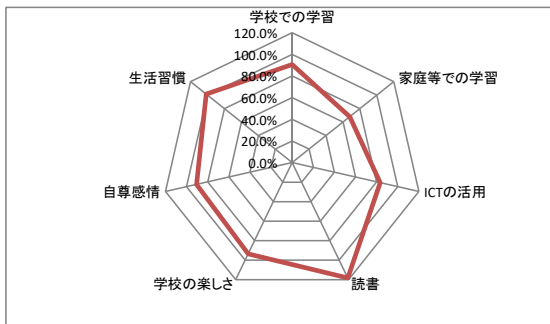
#### (1) 全国・本市の学力調査(国語、数学、理科)の結果

本年度の結果	国語		数学		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	6.6	47	9.8	47
全国	9.7	69	7.2	51	10.4	49

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全国と比べて、話す・聞く能力、書く能力や読む能力に関してはやや低い。特に、言葉の特徴や使い方に関することが苦手な傾向にある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	事象や行為、心情を表す語句について理解する問題。	
	努力が必要な問題	表現の技法について理解する問題。場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する問題。	
数学	全体的な傾向や特徴など	全国と比べて、データの活用に関する理解は同程度だが、数と式に関して正答率が低くなっている。問題解決の方法や事象が成り立つ理由を説明する問題に無回答が多く、苦手意識をもつ生徒が多い傾向が見られる。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題。	
	努力が必要な問題	問題場面における考察の対象を明確に捉える問題。 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題。	
理科	全体的な傾向や特徴など	全国と比べて、どの領域も正答率はやや低い。実験の計画を検討して改善できるかを考える問題に無回答が多く、考察の妥当性を考えることに苦手意識をもつ生徒が多い傾向が見られる。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	体のつくりと働きを分析して解釈する問題。状態変化に関する知識及び技能を活用する問題。	
	努力が必要な問題	岩石に関する知識及び技能を活用する問題。物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明する問題。	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業でのタブレット活用が進み、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った生徒の割合が増加した。</li> <li>・朝読書の取組や図書室経営の工夫により、読書好きな生徒や本の所持数が多い生徒の割合が増加した。</li> <li>・家庭等での学習の割合が低く、学習に関して家庭と学校が連携して取り組んでいくことが課題である。</li> </ul>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

知識の定着はもちろんのこと、知識を活用し、思考・表現していくことが重要なため、タブレット等を有効的に活用し、学習を行っていく。また、各教科での成果物を掲示したり、学びの軌跡のポートフォリオを掲示することで、知識の定着を図り、自己肯定感の高まりを目指すように取り組んでいく。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

学校全体で「midorinノート」を有効的に活用し、家庭学習の充実につなげていく。今年度は、全国学力・学習状況調査の結果を受け、生徒会の活動において、「先生たちに聞いた学習方法紹介」や「友達の学習方法紹介」を作成し、学習のやり方について紹介した。